

29.8.22 小道モコ氏講演会 報告

平成 29 年 8 月 22 日（火）に早良市民センターで「平成 29 年度 福岡市教育センター・ゆうゆうセンター共催講座 みんなで考える「発達障害のある子どもへの支援」として小道 モコ氏（主な著書『あたし研究』『自閉症スペクトラム”ありのまま”の生活』など）が講演をされました。当日は定員 500 名の 4 階ホール満席でした。

講演では講師の小道モコ氏には、当事者の立場から生活の中での気づきやつまずき、そしてその時々工夫について、小学校時代から現在までのエピソードを交えながら盛りだくさんにお話をされました。

子どもの頃感じていた不思議さや難しさの背景にあった特性についても、非常に丁寧にゆっくりとわかりやすくお話しして頂き多くの方に大変好評でした。講演中は、スクリーンに小道さんの描かれたイラストを映しながらお話を聞けるため、初めて発達障がいのお話を聞かれる方にもわかりやすく、ほのぼのとした雰囲気の学びの場になっていました。

<講演会感想>

- ① ゆっくり小道モコ氏のころの中を垣間見ることができたようで良かったです。
 - ② 『大変な道だけど、こんな人生もありかな』という小道さんの話に共感しました。」
 - ③ 「小道さんのお話で、こどものことが又少し理解できました。とても分かりやすくお話を楽しみました」
 - ③ 「小道さんの思いが、素敵な絵で表現されていてとても分かりやすかったです。
 - ⑤当事者の方の気持ちを少しでも知ることが出来た事で、改めて今、自分が関わっている子どもたちの気持ちに寄り添っていきたいと思いました。
 - ⑥ どういう支援が必要か、 どうすれば皆が『ありのままに生きる』ことにつながるのか、ヒントがたくさんありました。」
 - ⑦ 「お互いの立場から違いを認めて、地域社会で心地よく生活していく ヒントをいただきました。」
 - ⑧ 「自閉症の方にとって住みやすい社会を考えることは、みんなにとって住みやすい社会を考えることにつながるということがわかりました。」
 - ⑨ 小道さんのお話を聞いて「あ～そんな風感じていたんだな」と改めてハッとさせられることもいっぱいありました。
 - ⑩ 小道さんのお話を伺い、当人の本当に苦しいところはどこにあるのか、しっかり見つけてあげる必要があるなあと切に感じました。
- 小道さんの講演はずっと聞いてみたかったので今日聞けて本当に良かったです。小道さんの思考が絵に描いてあったので大変分かりやすく、小道さんの思考に近づくための視覚支援となりました。